

2009年度

科目名	総合講座Ⅱ		
担当教員	鈴木 利一		
配当	日文3	コード	32130
開期	通年	講時	水曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	萬葉集を中心とする上代日本文学の研究		
目的と概要	萬葉集は、成立当初の原本が残っていないため、萬葉歌を読むためには、後の時代に写し伝えられた書写本を手がかりに、原本の姿を推定復元する作業が必要です。演習では、各自が担当した一首について、それぞれこの作業を行う一方で、あらゆる角度から作品を分析し、その成果を資料にまとめて発表して行きます。演習参加者は、発表者との意見交換を行い、上代の語法や語彙の知識、表記に用いられている漢字や漢語の素養等を共に深めて行くことを目指します。		
成績評価法	講義への参加状況(40%)、課題の作成・提出状況(40%)、課題に取り組む姿勢(20%)等を勘案し、総合的に判断します。		
テキスト	『萬葉集』全歌が原文と共に載っているものなら何でもよい。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>本年度は、萬葉集巻三に収載される短歌作品を、以下の順序で読み進めることとします。1担当を2?3週程度とし、これを進行の目安として進めていく予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.二四九番歌 2.二五〇番歌 3.二五一番歌 4.二五二番歌 5.二五三番歌 6.二五四番歌 7.二五五番歌 8.二五六番歌 9.二六三番歌 10.二六四番歌 11.二六五番歌 12.二六六番歌 13.二六七番歌 14.二六八番歌 15.二六九番歌 <p>上代は、残されている文献資料が限られているため、可能な限り資料探査に努めて下さい。また、新たな資料探査法としてインターネット上の図書館・研究期間のサイトを利用することも必要になってきます。そうしたオンライン情報や電子データの取り扱いについても、機会のあるごとに解説し指導していく予定です。さらに、民俗学や歴史学・考古学等の関連諸学による成果にも触れ、総合的な視点から萬葉歌をとらえる能力を養っていきます。</p> <p>※講義の一環として、奈良国立博物館で開催予定の正倉院展見学を行う予定です。</p>			